

公園の中の庁舎

■配置計画

- ・敷地形状に合った自然な配置計画にします。
- ・公民館、小学校、体育館といった既存の施設とのネットワークを意識した一体の公共エリアとして意識してもらえよう配置計画にします。
- ・既存公民館の環境を損なわずに相互に上手く連携する配置計画にします。
- ・人々が自然に入りやすい道路側にまとめた広場を確保します。
- ・北側住宅地への影響が少ない配置計画とします。
- ・駐車場はイベント広場として活用できるように、まとめて配置します。

■プローチ計画

- ・歩行者、車の動線を明確にしながらも部分的には歩車共存出来る計画にします。
- ・公民館敷地も一体と考えてサーピス動線を考えます。
- ・町民の重要な交通機関である巡回バス、町民バスのターミナルとしての機能を計画します。

■オープンスペースの計画

一多様で豊かなオープンスペースをつくりますー

ふれあい広場

- ・道路からのアプローチ空間を大きく取り、気軽に立ち寄れる広場にします。
- ・今まで無かった町の中心をイメージできる広場にします
- ・安らぎと賑わいが共存できるコミュニティ空間として計画します。
- ・この広場に向かって建物が開き、施設の全容が理解できる様にします。
- ・野外ステージや展示スペース、彫刻、ベンチなどを効果的に配置し多様な行いを受け入れられる空間にします。
- ・住宅の軒先のようなスケールの回廊を配し、親近感の湧く空間にします。
- ・公民館の大きな壁を広場の構成要素として積極的に利用します。

スロープ広場

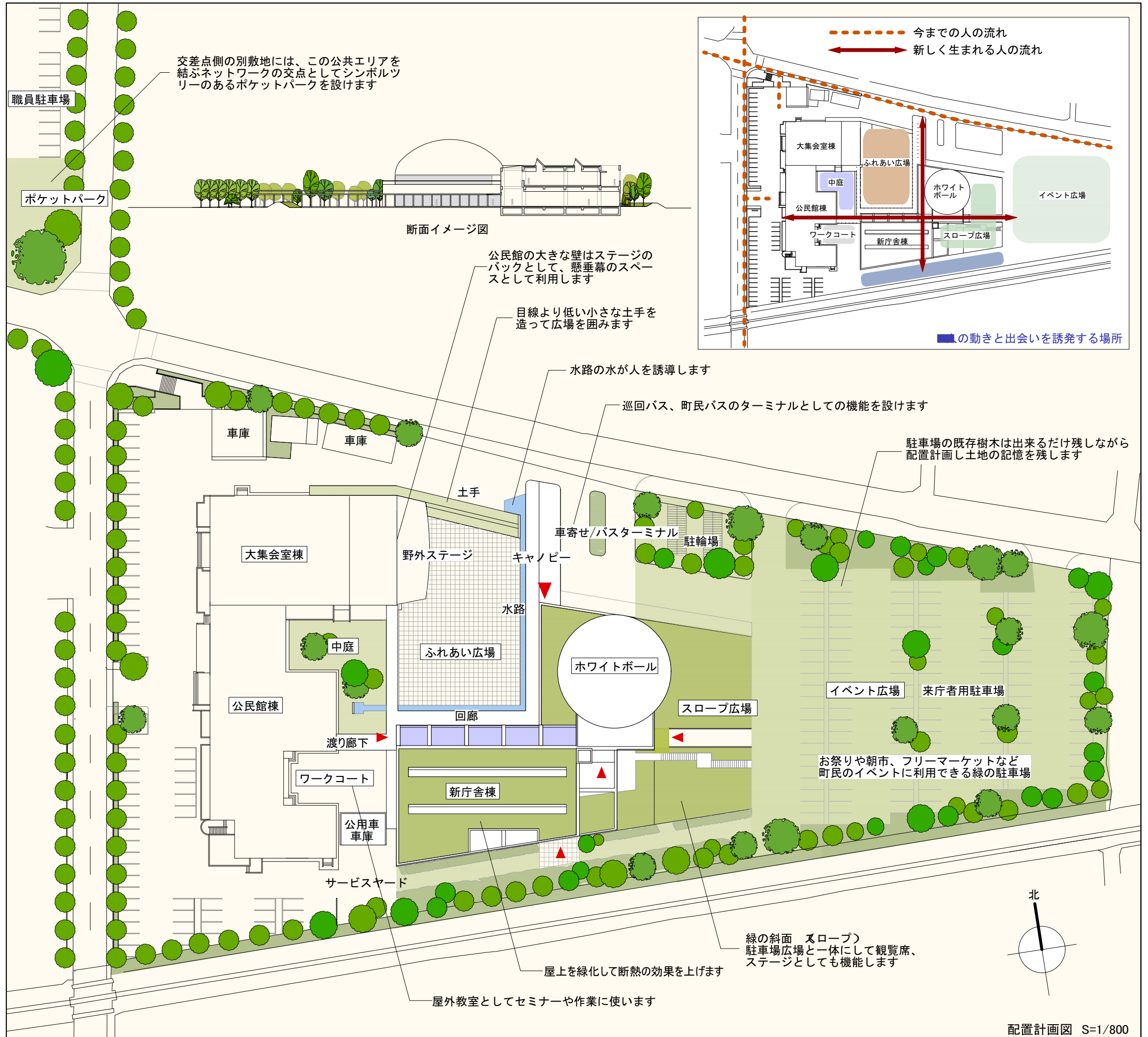
- ・基礎を掘った残土を盛土して土手をつくります。
- ・イベント広場（駐車場）と建物を連続させ、一体となった緑の大地のような立体的な広場をつくります。

イベント広場

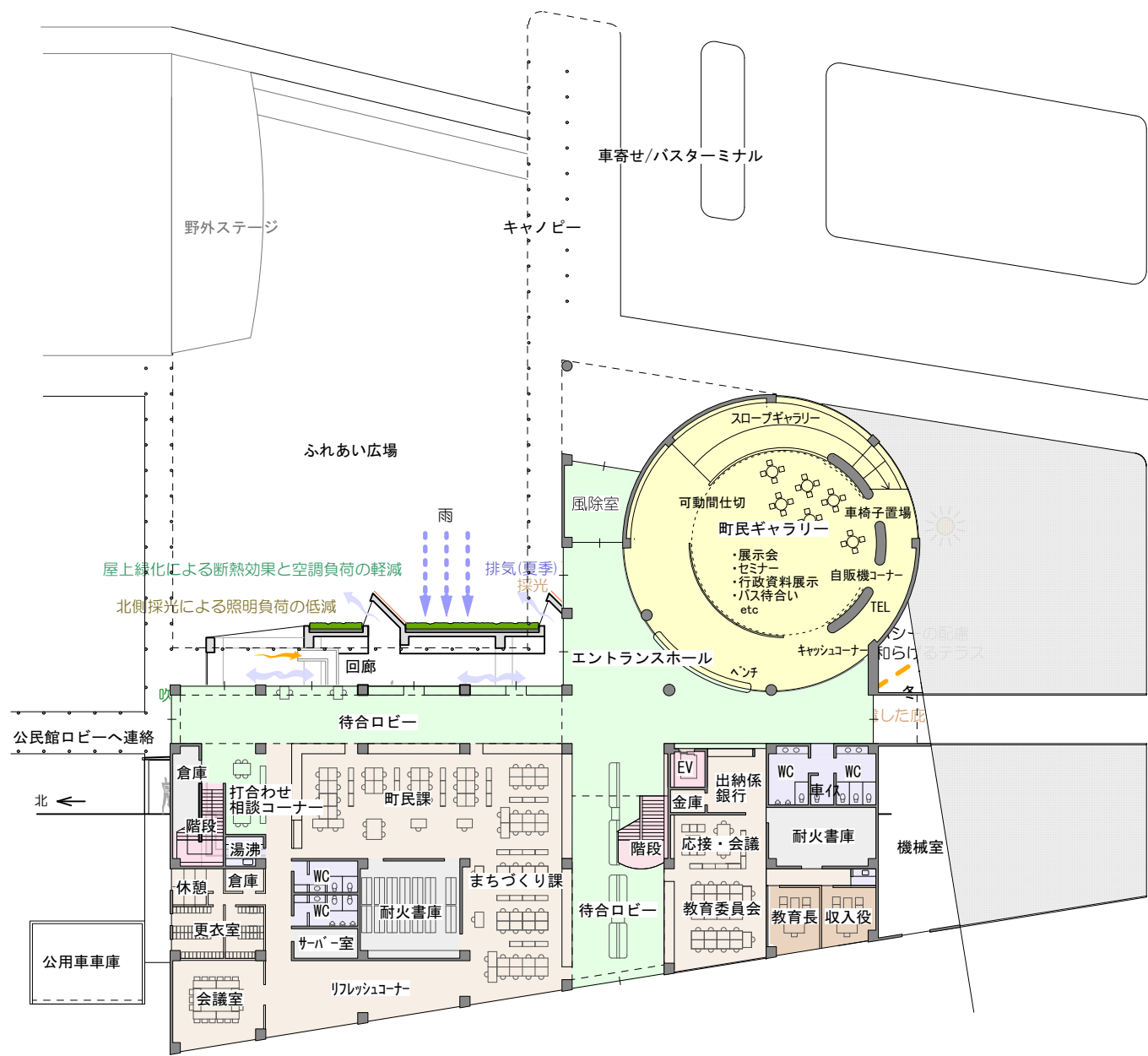
- ・敷地東側にまとめて駐車場を確保します。
- ・グリーンプロックで保護した芝生と舗石材を組み合わせた緑の駐車場とし「イベント広場」として町民が利用出来るようにします。
- ・駐車台数を確保しながらも既存樹木を出来るだけ残し、土地の記憶を残すと共に公園のような駐車場にします。

ワークコート

- ・公民館の活動を広げるような屋外作業のためのスペースをつくります。



配置計画図 S=1/800

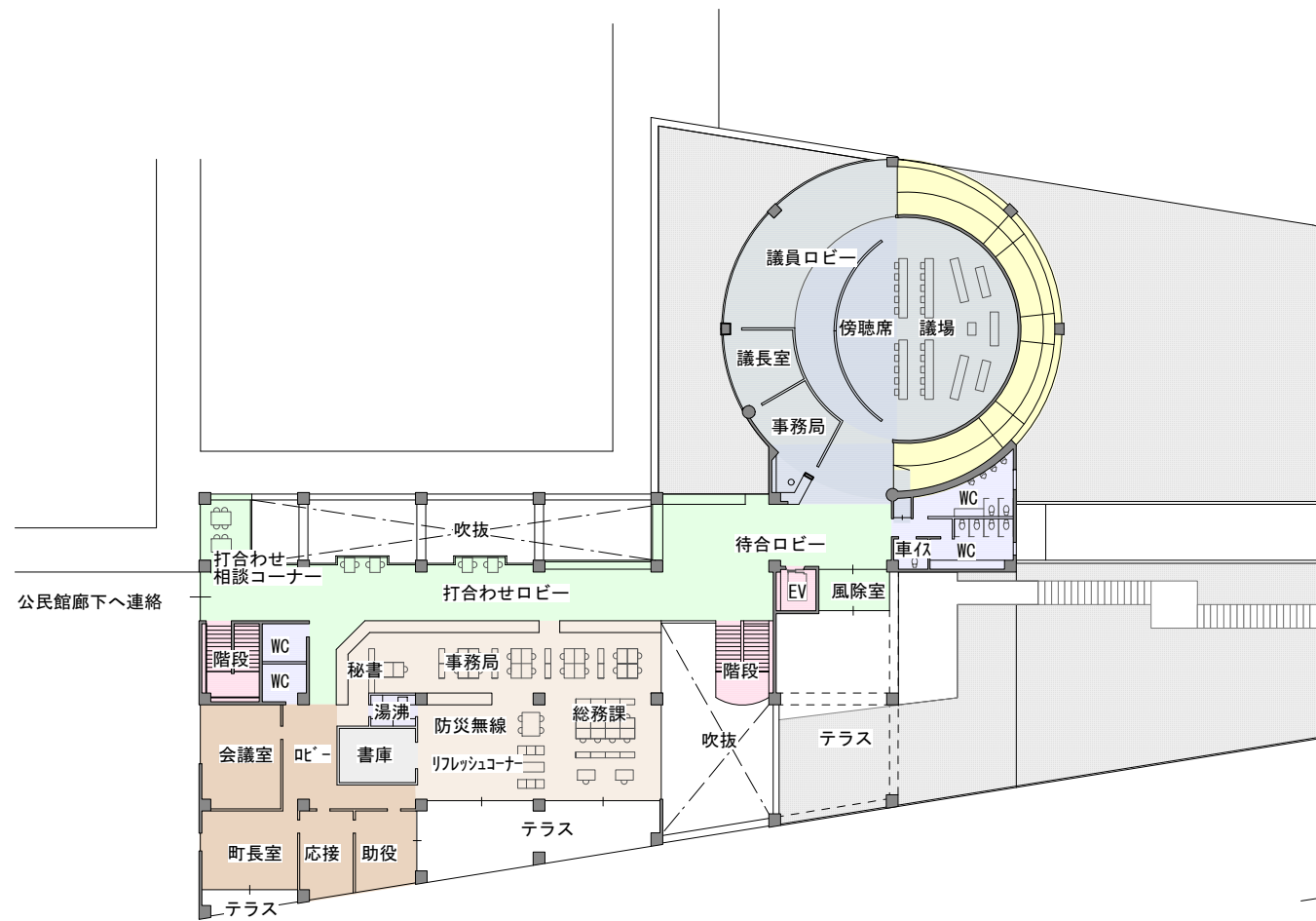


1階平面図 S=1/500

- : パブリックへ地域社会への開放性が意図され、町民が自由に入っていただける部分です
- : ギャラリー等へ新しい創造空間として、町民が自由な発想で、多様な利用ができます。
- : 一般事務部門
- : 執行部門へ町長を中心とした執務空間
- : 議会部門へ多目的ホール
- : 水廻り
- : 書庫等
- : 階段・エレベーター

構造 : 鉄筋コンクリート造 / 一部鉄骨造
規模 : 地上 2階建て

延床面積 : 3,225㎡
1階床面積 : 1,986㎡
2階床面積 : 1,239㎡



2階平面図 S=1/500

コミュニティ空間としての庁舎

■ 町民が使いやすく親しみやすい庁舎空間

- ・ エントランスを入るとすぐに全体の構成、配置が解るような計画にします。
- ・ 広場からも内部の見通しがよく、直接の出入りも出来る計画にします。
- ・ 吹抜を効果的に設けて、空間の把握がしやすい計画にします。
- ・ 事務カウンターはローカウンターとし、車椅子や高齢者、子供にも使い易い計画とします。
- ・ 職員が事務室を出て（町民に歩み寄って）打ち合わせが出来る「打合わせコーナー」や「打合わせロビー」を設けます。

■ 働く人も使いやすい庁舎空間

- ・ 事務スペースは低書架等でエリア分けするワンルーム方式とし、働く人にも気持ちの良い空間計画にします。
- ・ 書庫や倉庫等のバックスペースを十分に確保した上で、管理しやすくまとめる計画にします。
- ・ 各フロアにリフレッシュコーナーを設けます。

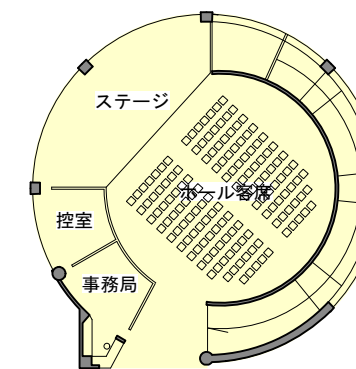
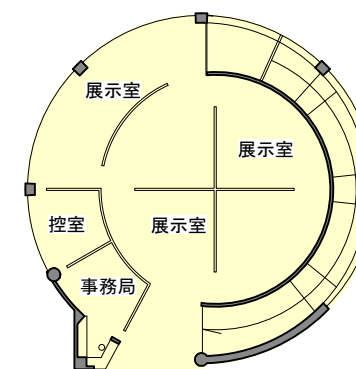
■ 未来を見据えた柔軟な庁舎空間

- ・ ユニバーサルデザインを行き渡らせ、車椅子対応エレベーターや多目的トイレの設置等、誰もが使いやすい計画にします。
- ・ 機構改革等に柔軟な対応が出来るよう、事務スペースは出来るだけ大きなワンルーム空間として確保します。
- ・ OAフロアやシステム天井を採用し、レイアウト変更に対応できる計画にします。

新しい創造空間としてのホール

■ ホワイトホール

- ・ 議会棟の1階ギャラリーと議場には機能優先の庁舎棟とは違う円形の空間を提案します。
- ・ 1階の町民ギャラリーは町民の為のイベントスペースとしていつも開放されています。
- ・ 議場は行政合併後の多目的な仕様を見据えて円形の多目的ホールとして計画します。
- ・ 公民館のホールとは全く性格の違うホールとして機能するように特徴的な空間を提案します。
- ・ 使う側の発想を引き出すような空間、今までこの町になかった空間をつくります。



1階ギャラリーとスロープまで含めた中規模の展示会も開けます

セミナーや紙芝居、人形劇など各種イベントに利用できます

■ 辺環境への配慮

- ・周辺住宅との距離を確保し、インパクトを軽減します。
- ・既存樹木を残すと共に施設内外の緑化率を高めて、熱負荷の軽減、地域生態系の保護に努めます。

■ 自然エネルギーの活用

雨水の制御と再利用

- ・駐車場や広場は浸透性の舗装にし雨水の調整機能を持たせます。
- ・屋根に降った雨水は地下ピットの貯水槽に集め、濾過した上でトイレの洗浄水や植栽への散水に利用します。

太陽エネルギーの制御と利用

- ・北側トップライトの自然採光によって照明負荷を軽減します。
- ・太陽光発電パネルを設置し照明負荷を軽減します。
- ・待合ロビーは冬季のダイレクトゲインを土間蓄熱して暖房負荷を軽減します。
- ・上昇した暖気は床下へ送風して蓄熱します。
- ・夏季は庇と外部ルーバーで日射をコントロールします。
- ・屋上緑化による屋根断熱を行い、空調負荷を軽減します。

■ コマテリアル

- ・リサイクル材料、リサイクル可能な材料を採用し資源負荷を軽減します。
- ・有機性化学物質等を含まない材料を使用し、人体への影響に注意を払います。

